



「強靱で安全・安心な都市を支える地質地盤の情報整備 —あなたの足元は大丈夫?—」

あなたは足元の地質地盤をご存知ですか。地質地盤情報は、国民の暮らしの安全・安心と社会・経済の持続的発展を支えるための必須の情報です。しかし、大都市の地質地盤は未だに十分な可視化が進まず、広く国民が活用する段階には至っていません。多様な地下の地質地盤の情報整備が、関連する学術研究の発展につながり、その成果が迅速に社会に橋渡しされることを願い、公開講演会を企画しました。

<プログラム>

司会:小嶋 智(日本学術会議連携会員、岐阜大学工学部教授)

開会挨拶 13:30-13:45 大西 隆(日本学術会議会長)

開催趣旨 13:45-14:00 水見山 幸夫(日本学術会議会員、北海道教育大学名誉教授)

テーマ1 地質地盤情報の整備と共有化、地下モデルの技術開発と活用事例
14:00-14:20「日本における地盤情報の整備・共有化と活用事例」
北田 奈緒子(地域地盤環境研究所研究開発部門長)
14:20-14:40「都市平野部における地質地盤情報—地下3次元構造モデル—」
中澤 努(産業技術総合研究所地質情報研究部門情報地質研究グループ長)

テーマ2 住民に最も近いユーザー—地方自治体の情報整備とハザードマップ
14:40-15:00「防災に役立つ地質地盤情報」
岩田 孝仁(静岡大学防災総合センター教授)

<15:00-15:10 休憩>

テーマ3 地質地盤情報の技術開発と社会・ビジネスでの応用事例
15:10-15:30「地盤情報の活用と強靱で魅力のある都市設計」
田村 和夫(日本学術会議連携会員、千葉工業大学工学部教授)
15:30-15:50「地中熱利用の普及に必要な地質地盤情報の共有化」
笹田 政克(地中熱利用促進協会理事長)
15:50-16:10「土地利用に関する新たな展開—不動産の新しい価値の概念—」
中城 康彦(明海大学不動産学部長・教授)

<16:10-16:25 休憩>

総合討論 学術研究成果の社会への迅速な橋渡し、地質地盤情報システムの社会実装化、及び利活用促進のための法整備
16:25-16:45「地質地盤情報の課題と今後の取り組み—法整備を目指して—」
佃 榮吉(日本学術会議連携会員、産業技術総合研究所理事)
16:45-17:20 講演者登壇と質疑応答・議論

閉会挨拶 17:20-17:30「本シンポジウムの意義と今後の展開」
依田 照彦(日本学術会議会員、早稲田大学理工学術院創造理工学部教授)

平成28年
1月23日(土)
13:30~17:30

参加費無料
定員300名
事前申し込みは
下記ウェブサイトから

<https://www.gsj.jp/event/2015fy-event/jsc20160123/JSC20160123.html>

会場

日本学術会議講堂

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅
5番出口徒歩1分

<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

主催 日本学術会議 地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会 土木工学・建築学委員会学際連携分科会

後援 日本応用地質学会、地盤工学会、日本地質学会、土木学会、日本建築学会、日本地震工学会、物理探査学会、日本地球惑星科学連合、日本不動産学会、日本都市計画学会、日本情報地質学会、日本第四紀学会、建設コンサルタンツ協会、産業技術総合研究所地質調査総合センター、防災科学技術研究所、北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所、地域地盤環境研究所、地中熱利用促進協会、地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会

本講演会は、日本学術会議学術フォーラム「防災学術連携体の設立と東日本大震災の総合対応の継承」と連携しています。

問い合わせ先: 日本学術会議地質地盤講演会準備会
E-mail: scj-symposium-secr@aist.go.jp